

レディースドック

¥13,900

- ♥ 乳がん健診 (視触診・マンモグラフィー)
- ♥ 子宮がん検診 (子宮頸部細胞診・内診)
- ♥ 骨密度検査 (超音波法)

お気軽にお問い合わせください

事業所健康診断

当健診センターでは、近隣の事業所を対象に健康診断(採用時・定期)を実施しています。項目等の具体的な内容は随時、ご相談を受けていますのでお気軽にお問い合わせください。

実施日 : 平日 13:30受付
 申込方法 : 予約制

お電話で直接お申し込みください。

結果個人票: おひとりおひとりに合わせた、
 わかりやすい結果表を作成します。

**団体様での受診や婦人科との
 組み合わせも可能です。**

健診センターのご案内

- *人間ドック: 月・火・木の実施日
 - *センター健診: (詳細は市の情報誌をご覧ください)
 - *健康教室: 第2金曜日 (予約不要・無料です)
- 健診に関するお問合せ・予約は
 下記までご連絡下さい。

健診センター 0940-37-0007

健康教室のご案内

- 平成23年 12月 9日(金)
 高脂血症の食事療法 (講師: 管理栄養士)
- 平成24年 1月 13日(金)
 高尿酸血症の話 (講師: 保健師)
- 平成24年 2月 10日(金)
 生活習慣を予防・改善する運動療法
 (講師: 健康運動指導士)
- 平成24年 3月 9日(金)
 脂質異常(高脂血症)の話 (講師: 保健師)

健診だより

VOL4

ご存知ですか

1. 認知症、そして、アルツハイマー型認知症とは

歳のせいだけとはいえないひどい物忘れに加えて、物事を考えたり判断することが苦手になり、日常生活に支障が見られるようになった状態が認知症です。認知症の割合は年齢を重ねると共に増加し、75歳以上では5人に1人が認知症になるといわれています。

アルツハイマー型認知症は、異常な蛋白質が脳に溜まり、脳の働きが損なわれる病気です。脳の神経細胞が失われるにつれ、脳全体も少しずつ萎縮していきます。認知症の原因の中で最も多くの割合を占めています。

2. アルツハイマー型認知症でみられる症状とは

アルツハイマー型認知症は、同じことを繰り返し言ったり聞いたりする、人と会う約束やその日時を忘れる、大切な物をなくしたり置き忘れたりするなど、歳のせいによるものを超えた「もの忘れ」で始まります。記憶は年齢とともに衰えますが、アルツハイマー型認知症の「もの忘れ」は、そのために日常生活にも支障が出るほどひどい「もの忘れ」が特徴です。

アルツハイマー型認知症の症状は、中核症状と行動・心理症状に分けられます。中核症状は、覚える、判断するなどの役割を担っている脳の神経細胞が失われて、機能が障害されるために起こる、「思い出せない」「理解・判断できない」といった症状です。

一方、行動・心理症状は、いらいら、抑うつ、徘徊、暴力をふるうといった症状です。

認知症の人の不安な気持ちや焦り、いらだちなどを早い段階で受け止めて、環境を整えたり適切な対応を行うことで、未然に防いだり改善できることも少なくありません。そのためにはご家族、介護者が気持ちのゆとりをもって認知症の人に向き合うことができる環境づくりも大切です。



スタッフ紹介



健診事務部

健診センターでは、宗像市・福津市と連携して、年間約7000人の住民健診を実施しております。

健診センターでの住民健診は、受診される皆さまのご協力のもと、安全・確実に実施されております。

今後も地域の皆さまに愛される健診センターを目指してまいります。

1月~3月
 期間限定キャンペーン

脳MRIコース

<検査項目>

¥20,000

●MRI検査

*3つの検査を合わせた料金です

脳の断面画像を見ることで、脳梗塞や脳腫瘍・脳萎縮がわかります。

●MRA検査

脳の血管の立体映像によって、脳動脈瘤の有無や血管狭窄がわかります。

●ABI検査

四肢の血圧を測ることで、血管の硬さ・詰まりが分かり、血管年齢を調べることも出来ます。

検査終了後、その日のうちに医師より
 結果について説明があります。

ご不安なことや不明な点は
 直接ご相談下さい。

センター長編集後記 (平成23年12月号)

いよいよ年の瀬となりました。インフルエンザが流行する季節となりましたが、睡眠を十分にとり、生活のリズムを壊さないように体調の管理に気をつけ、ウイルスに対しての抵抗力が落ちないようにしましょう。

年々、月日が経つのが早く感じられるようになり、今年もあっという間の一年でした。しかし、ニュージーランド・クライストチャーチ地震、東北地方太平洋沖地震、放射能汚染および原発問題、ギリシャ経済崩壊、史上最高の円高、タイの大洪水、環太平洋経済協定など、日本だけでなく世界中で大きな事件が起こった年でもあり、ある意味非常に内容の濃い一年間ではなかったでしょうか。

また、この一年は、今後日本がどのようにして世界の中で生き残っていくかという大きな問題を、日本人として真剣に考えさせられる年でもあったと承知します。しかし、それは今年一年で終わるわけではなく、今後、永遠に大きな問題として我々に投げかけられるのだと思います。

《江島 準一》